

2024

12月



患サポ通信

— ささえちゃん便り —

第 128 号



ささえちゃん

今年も残すところあと僅かとなりました。

本年も多大なるご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。
良いお年をお迎えください。

今月号は、『造血細胞移植コーディネーター(HCTC)』のご紹介です。

造血細胞移植コーディネーター (HCTC) とは

造血細胞移植コーディネーター (Hematopoietic Cell Transplant Coordinator, 以下 (HCTC) は、「造血細胞移植が行われる過程の中で、ドナーの善意を生かしつつ、移植医療関係者や関連機関との円滑な調整を行うとともに、患者・ドナー及びそれぞれの家族の支援を行い、倫理性の担保、リスクマネジメントにも貢献する専門職」であり、当院には2名の認定HCTCが在籍し活動しています。当院では血液内科と小児腫瘍内科で造血細胞移植を、年間40~50件行っており、HCTCは移植チームの一員として、①移植の全過程を通して患者やドナー及びそれぞれの家族の支援を行う②移植医療が円滑に行われるように院内外の移植医療関係者や関連機関との調整を行う、という役割を担っています。

患者と家族の支援

移植適応と判断された時から介入をスタートし、移植の必要性や移植に関する説明を行い、患者さんと家族の意思決定を支えます。移植を受けることを決めると、移植に向けた準備やドナー選択、社会資源の提供、心理的支援などを行い、安心して移植治療に望めるようにサポートしていきます。移植中、移植後も継続して支援を行い、特に移植後の生活面へのサポートは多職種と連携していきます。

血縁ドナーと家族の支援

家族内にドナー候補者がいる場合は、ドナー候補者へ心理的負担がかからないように配慮しながら、適合性検査の前から介入をスタートします。ドナー候補者の健康などを確認しながら、移植に関する説明、適合検査の目的や細胞採取などの説明を行い、ドナーの意思決定を支えます。ドナーになる場合は、その後の健康診断や採取のための入院、退院後の健康状態の確認などを継続して支援することでドナーの安全を守ります。

骨髄バンクドナーの支援

18歳から54歳までの健康状態が良好な方が日本骨髄バンクへ登録しており、現在の登録者数は約55万人です。当院では年間約10件前後の、骨髄バンクドナーからの細胞採取を行っています。HCTCは骨髄バンクドナーの採取前健康診断から、入院中、退院後の健康診断までをサポートしています。骨髄バンクのドナーさんは見知らぬ患者さんのために、無償で細胞を提供しており、そのおかげで多くの患者さんが救われています。

院内外の関係部署、関係機関との連携

- ・造血細胞移植に関わる院内の各部署へは、face-to-faceを心がけています。医師や看護師スタッフはもちろんですが、理学療法士、検査技師、歯科衛生士、ソーシャルワーカー、医療事務、そのほか多くのスタッフとの連携を図りながら、情報共有や配分を行い、移植チームの調整を図っています。また、骨髄バンク、さい帯血バンク、関連学会、紹介元の病院など、多くの院外の関係機関との連絡調整も担い、円滑な移植治療を目指しています。

小児の移植

- ・当院小児腫瘍内科では造血細胞移植を必要としている子どもへの移植を行っています。成人と違い、子どもは自ら移植治療を選択することは難しく、年齢や発達に合わせた説明を行うことで、移植治療への理解を得ています。また小児同胞ドナーについては、説明を聞き理解できる年齢を基準にドナー候補者として関わっています。ドナーになることが、その後の子どもの成長にマイナスにならないような支援を行います。

移植認定施設として

- ・当院は、「国から許可された骨髄バンク及びさい帯血バンクから提供される造血幹細胞を用いて移植をする施設」として認定されており、HCTCが移植チームの一員として移植治療に関わることで、コーディネート充実加算1500点が加算されています。また、移植後患者のフォローアップ外来も開設されており、研修を受けた看護師が介入することで、患者一人当たり移植後患者指導管理料 300点/月が加算されています。移植後に起きる様々な合併症や心理的問題へ、医師、薬剤師、看護師がチームで関わることで、早期発見や移植後のQOL向上を目指しています。



造血細胞移植コーディネーター（HCTC）

